



令和4年6月24日発行

立山町教育センターだより 号外6

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp>

連日の気温上昇。児童生徒や先生方の熱中症が心配です。十分な対応を施して、元気に乗り切りましょう。

訪問研修を終えて④

釜ヶ淵小学校

研修主題 : 一人一人のよさを捉え、育む授業

本校では、子供の具体的な姿からよさを捉えることや、「体験活動」と「座学」を連動させることを、日々大切にしています。学校訪問研修までの2か月間は、学校生活の基盤となる「心の居場所づくり」を中心に取り組みました。特に、朝の「くらしのたしかめ」を実践し、日々のくらしの中で見られる子供のよさを捉えるよう努め、研鑽を積んできました。学校訪問研修においても、一人一人のよさを捉えることを大切にしました。

<明らかになったこと>

- ・教師の立ち位置を変えることで、子供同士が思いを自ら伝え合おうとすることにつながっている。
- ・教師が一人の子供の発言を大切に受け止めようとすることで、子供たちは自分と異なる意見を受け入れ、考えを深めたり、仲間と学ぶ楽しさを感じたりしていた。
- ・「くらしのたしかめ」の時間を中心に、心の居場所づくりに取り組んできたことで、担任と子供、子供同士の信頼関係が築かれてきている。
- ・子供が課題を見付け、子供が自ら学びを進めていく姿勢を育むには、教育活動全般に渡って指導していくことが大切である。



<残された課題>

- ・個々の課題の解決を図る一人学習の時間を保障する単元を構想する必要がある。その中で一人一人の学びのよさを教師が捉えることで、子供によさを自覚させていく手立てが可能となる。
- ・一人学習におけるノート指導（朱書き、言葉がけ）の質を高めていくことが重要である。
- ・日々のくらしや学習では、目当てを明らかにしながら体験活動に取り組むことが大切である。
- ・体験したことを振り返り、自己評価する機会の充実を図りたい。

多くの示唆を与えていただき、これまでの取組の成果と、今後の研修の方向性を確認する機会となりました。

文責 教務主任 大久保 里美

